

一般社団法人 日本スノースポーツ&リゾート協議会
会長 北野 貴裕

アフターコロナの緊急要望

近年まれに見る暖冬による雪不足に加え、新型コロナウイルス蔓延防止のための緊急事態宣言等により、スキー場の利用客は大幅に減少いたしました。スキー場は、今、非常に厳しい経営環境におかれています。スノースポーツの場であるスキー場は、雪国の過疎地域や中山間地の基幹産業であり貴重な雇用の場でもあります。また、スノースポーツはソーシャルディスタンスを確保し易いスポーツですから、いわゆる三密（密閉、密集、密接）を避ける対策は必要ですが、コロナ後の新常态に適合できるスポーツです。新型コロナウイルス感染収束後、地域経済活性化のため、また、スキー場を維持してゆくため、下記の施策を強く国に働きかけていただきますよう要望いたします。

記

1、国に置かれましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が収束した後、V字回復を目指し、期間を限定してGOTOキャンペーン（仮称）を行うことを予算措置されております。この期間設定に当たりましては、スノースポーツも含まれますよう特にご配慮願います。また、その対象の決定に当たりましては、例えばリフト券などスノースポーツ関係も含まれるよう要望します。いずれにしましても、安心してスノースポーツを楽しんでいただくためには三密対策が取られていることが必要ですが、それはスキー場のみならず、宿泊、飲食、指導、二次交通等多岐にわたります。我々も三密対策ガイドライン作成に努力してまいります。国に置かれましてもぜひご協力をお願いいたします。

2、新型コロナウイルス感染症は世界的な広がりを見せており、国内で収束してもインバウンド市場の回復には時間を要すると思われますが、スノースポーツ産業にとってインバウンド市場は今後も極めて重要です。他方で、リフト等の索道施設は、老朽化が顕著であり、海外と比べて大きく見劣りする状況にあります。国際競争力の高いスノーリゾートを形成するためには、スノーリゾートにとって公共インフラともいえる索道施設の思い切った更新が不可欠です。また、今後、新常态が続くことを想定すると、三密をできるだけ減らすため、自動改札システム、ネットでの販売等いわゆるIT化に向けた投資も必要になります。スキー場を始めとするスノースポーツの関係者は、新型コロナウイルス蔓延防止のための緊急事態宣言等による利用者の大幅減により、経営的に非常に厳しい状況におかれています。地域の関係者が一体となって、魅力のあるスノーリゾートの形成や投資促進に向けた環境の整備に取り組んでまいります。世界に誇る国際的なスノーリゾート形成の取組を単年度で成し遂げることは困難であることに鑑み、「国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業」の継続・拡充を始めとする財政・金融支援を要望します。

3、スキー修学旅行等は子供たちの自然体験、運動機会の創出に役立ちますし、将来のスキー人口確保には欠かせません。ただ、大勢の子供たちが集団行動をする事になりますので、コロナ後の新常态を勘案すると、来年からは中止せざるを得ないという動きが出ています。三密を避ける対策が不可欠ですが、その上で、国に置かれましてはスキー修学旅行等を是非推進していただくと共に、家庭の負担軽減の観点から、学校に対するスキー修学旅行等の助成のご検討を願います。併せて、雪国におけるスキー授業の機会増加のためのご支援も要望します。

4、スキー場の降雪機及び雪上車についての軽油引取税の免税措置が三年の期限を迎えます。赤字のスキー場が多い上、暖冬、新型コロナウイルスの影響等非常に厳しい経営環境の中にありますので、是非、延長をお願いします。

5、国有林野の使用料の納期限の延期にご尽力いただき有難うございました。減免も認めていただけますよう引き続きご支援よろしく願いいたします。

6、コロナウイルス関係の諸申請の際、例えば、日本標準産業分類では、娯楽業の分類の中に、ゴルフ場やテニスコートはありますがスキー場はありませんでした。非常に子細なことではありますが、産業として認めていただくよう要望します。

以上